

# 条件付入域制度【試案】

(別紙)

## 【手続き(A~C併用)】

### A: 電子申請(主に個人)

[入域前] 登山前に電子申請・e-ラーニング受講・事務手数料(税含む)納付  
 [現地窓口] 登山装備が適正か確認を受ける  
 [チェックポイント] 認定を受けた登山者が確認を受ける

### B: 現地申請(窓口手続き希望者)

[入域前] ※特になし(現地での煩雑な手続きが必要)  
 [現地窓口] 入域申請・講習受講・事務手数料(税含む)納付・登山装備確認  
 [チェックポイント] 認定を受けた登山者が確認を受ける

### C: ツアー参加

[入域前] 【申請は旅行会社が代行】  
 ツアー申込, 旅行代金入金(事務手数料・税含む)  
 ガイドによる講習受講及び装備確認  
 [現地窓口] ※特になし(スムーズな通過が可能)  
 [チェックポイント] 認定を受けた登山者が確認を受ける

※将来的にはA及びCを原則としたい

## 【必要な対応】

### 【システム導入・運営】

円滑な手続きを進めるため、顔認証技術・電子決済等を使った電子申請システムの構築

### 【現地窓口運営】

電子申請が困難な方(外国人含む)への対応、装備品確認のための現地窓口の設置

### 【チェックポイント運営】

完全捕捉を実現するため、チェックポイントに認定証を確認する警備員を配置

## 【課題】

### 【運営経費】

- 登山者の大幅な負担増

### 【技術的な課題】

- 認証機材の設置  
(安定的電源確保・過酷な気象下での運用・関係法規)
- 現地窓口建物の確保  
(静岡側2登山口に建物なし)

### 【法令的な課題】

- 道路法等、他法令との整合性

